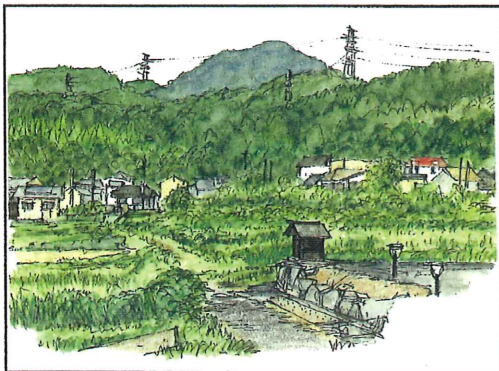


穴太

あ の う

～古代から近世の歴史に彩られた穴太～

比叡山麓の穴太の里は、古墳時代から近世にいたるまでの長い歴史が絡みあったところ。西方の山中には古墳が点在し、高穴穂神社は神話の時代の天皇の都跡と伝え、明智光秀ゆかりの盛安寺には、平安時代の作とされる十一面観音像が安置されています。また道を歩けば素朴な路傍のお地藏さんをそこかしこに見つけることができます。

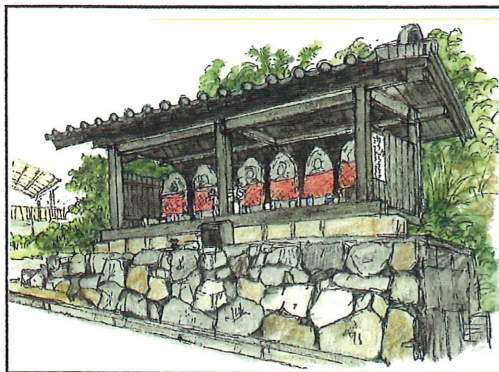
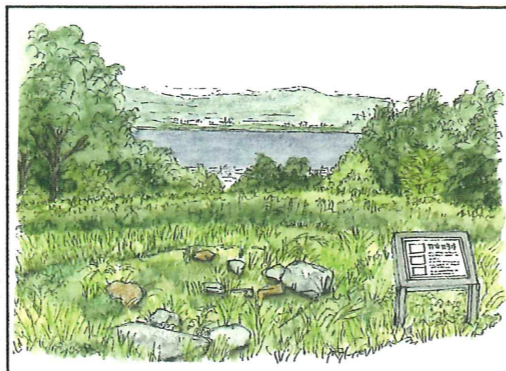


①壺笠山(つぼかさやま)

穴太西方の壺笠山には卑弥呼の時代のものでされる古墳の上に、志賀の陣で織田信長軍と対峙した浅井・朝倉軍の壺笠山城の城跡が残っている。

②野添(のぞえ)古墳群

比叡山東麓に分布する古墳時代後期の群集墳で、県道工事で降度かの調査により東西約1km南北200m程の範囲に152基の古墳が確認された。

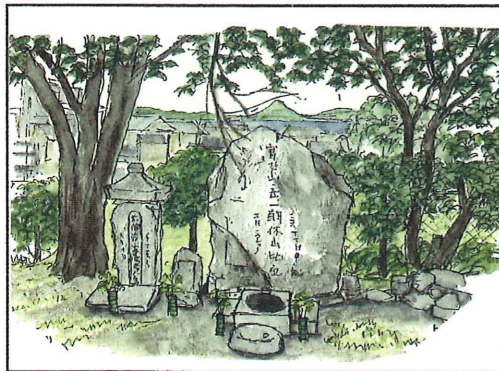


③野添(のぞえ)六体地蔵

穴太駅北側の山の斜面にある墓地や野添古墳群を抜けて、比叡山方面に至る平子谷林道の入口には赤い前垂れの六体地蔵が祀られている。

④高穴穂(たかなほ)神社

第十二代景行天皇高穴穂宮跡地に建つという神社。境内には高、中、低、草木の階層構造が整った貴重な穴太の森という小さな森が残っている。

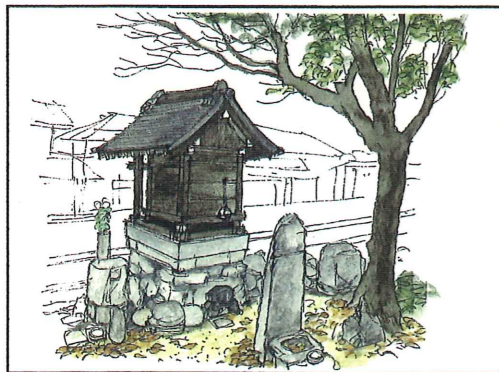


⑤圓光寺(えんこうじ)跡

圓光寺は創建時桂昌庵と号したが衰退の後休山禪師によって再興された。廃仏毀釈により京都山科の華山寺と合併しその後廃寺となった。

⑥穴太(あのを)地蔵堂

穴太地蔵は北国西街道が穴太の集落に入る角にあったためにまわり地蔵と、病気災難から村を守ったことから延命地蔵とも呼ばれている。

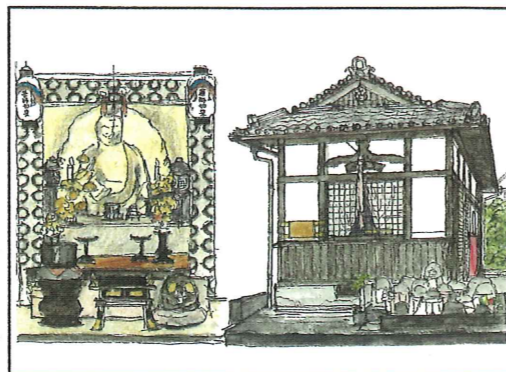


⑦足利義晴(あしかがよしはる)供養塔

室町幕府の第十二代將軍足利義晴は、細川氏三好氏などを含めた政争の難を逃れ京の都より穴太の地に至り、この地において病死したという。

⑧薬師堂(やくしどう)

薬師堂に安置された石像は一枚の花崗岩から彫り出された物で山上から転がってきたと伝わり、享保年間の地誌には伝教大師作と記されている。

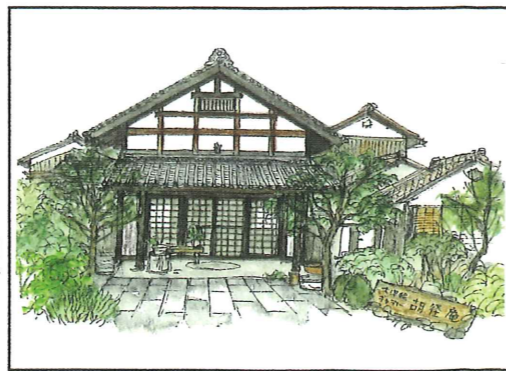


⑨穴太廃寺(あのをはいじ)跡

飛鳥時代創建の穴太廃寺跡からは穴太の古い地割りと天智天皇の大津宮の地割りの2種類の軸線による伽藍配置が見つかっている。

⑩胡徑庵(こけいあん)

大津の名産品で江戸時代初期に生まれた独特な民俗絵画である大津絵のギャラリー
10:00~16:00(不定休)
予約制 077-579-8517



～穴太衆積み石垣のふるさと松ノ馬場～

織田信長の安土城他多くの石垣で知られる穴太衆積み。自然石を積み上げ強固な石垣を作る石工集団『穴太衆』のふるさとが松ノ馬場です。穴太衆積み石垣のルーツとも考えられる支石墓(ドルメン)や、穴太衆頭創建の浄光寺、穴太衆頭の墓地や比叡山延暦寺の里坊の石垣など穴太衆にまつわる史跡が随所に点在しています。

松ノ馬場

ま つ の ば ん ば

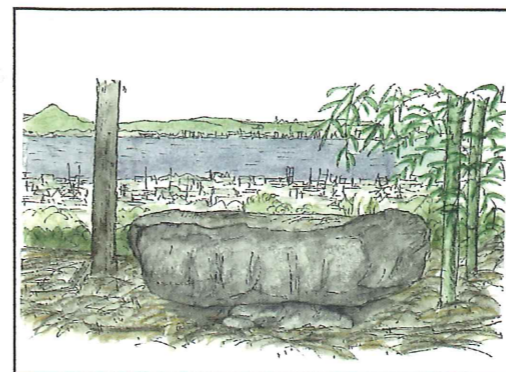
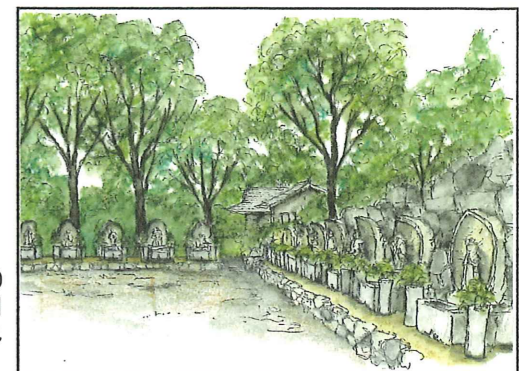


⑪森本墓地と穴太衆頭の墓

山裾に広がる森本墓地の中に、穴太衆頭(あのをしゅうかしら)戸波一族の墓がある。鬱蒼とした木々に覆われているが、入り口付近は最近整備された。

⑫坂本観音霊場

県道建設工事で京都に移されていた石仏群が令和3年約50年ぶりに以前置かれていた日吉東照宮近くの場所へ移され坂本観音霊場として再興。



⑬支石墓(ドルメン)

県道沿いの丘の竹藪の中に残る支石墓は穴太衆積みの原型と推測される。丘の上からは遠くに琵琶湖対岸の近江富士三上山の山容が望まれる。

⑭早尾(はやお)地蔵

六角形の建物が特徴的な地蔵堂。内部の地蔵尊は伝教大師自作と伝え大師が童子養育を願いつつ彫ったため子育て地蔵と呼ばれる。

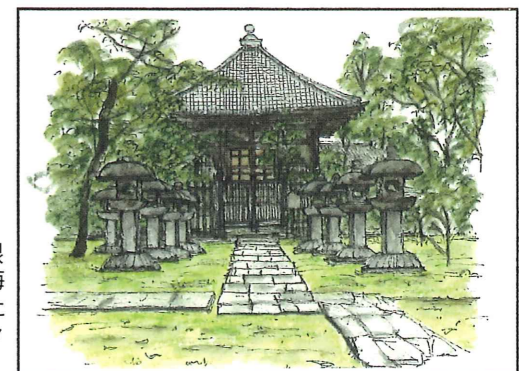


⑮慈眼堂(じげんどう)山門

慈眼堂は織田信長の比叡山焼き討ち後の復興に尽力した慈眼大師天海僧正の廟所。山門を入り灯籠の奥にある禅宗様の建物は国指定の重要文化財。

⑯慈眼堂(じげんどう)

慈眼堂の堂内には木造の慈眼大師坐像を祀り境内には天海によって高島市から移された13体の阿弥陀如来像他、数々の供養塔が安置されている。

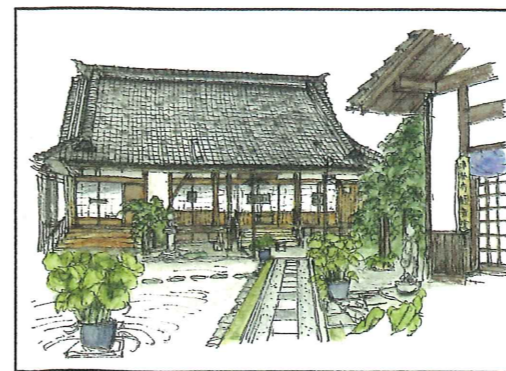


⑰作り道(つくりみち)

生源寺から福成神社あたりにあった大寺跡に作られた新道で、道に沿って造り酒屋や菓子屋などの製造業の店が数多くあったためその名がある。

⑱松ノ馬場(まつのばんば)

信長の焼き討ち後坂本と下阪本を結び計画的に作られた道。ゆるやかな坂を庄之辻あたりまでのぼるとはるかに琵琶湖の湖面が見わたせる。



⑰浄光寺(じょうこうじ)

松ノ馬場駅の近くの浄光寺は、江戸時代初めに石積み職人として全国で活躍した穴太衆の一人戸波駿河守の創建と伝え穴太衆ゆかりの寺である。

⑳明智地蔵(あけちじぞう)

比叡山焼き討ち後の坂本の町の復興に尽力した明智光秀への恩返しとして坂本の民が祀ったというお地藏様。道路脇にひっそり安置されている。



穴太 松ノ馬場

あ の う ま つ の ば ん ば

歴史散歩イラストマップ

監修：比叡山麗の歴史を考える会・坂本第一区自治会

製作：『街道をかく』紀行画家 川村和彦

E-mail: kazu003102@gmail.com

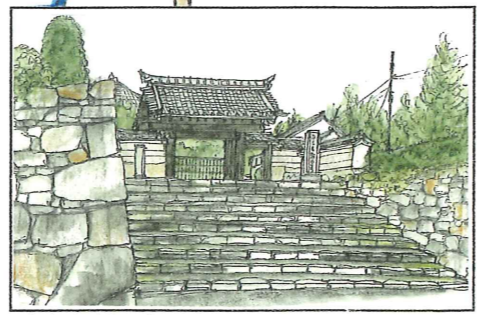
協賛：坂本観光協会



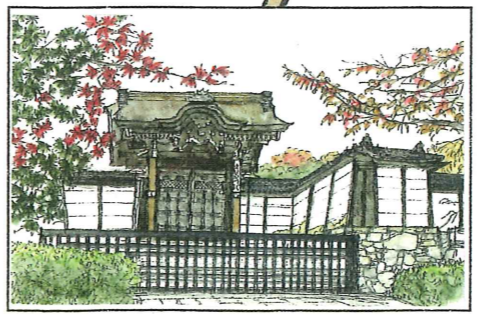
■盛安寺
 天台真盛宗盛安寺は創建年は不明だが戦国時代に越前朝倉氏の家臣杉若盛安により文明年間に再興された。その後何度かの火災による焼失と復興を繰り返して現在に至る。
 客殿は伏見桃山城の遺構を用いて建てられたとされ桃山御殿とも呼ばれている。穴太衆によって造られたという境内周囲を囲む石垣はまるで城郭のような迫力と美しさである。
 藤原期の作造と伝える十一面観音菩薩立像は国の重要文化財に指定されている。



盛安寺(太鼓楼)



盛安寺(山門)

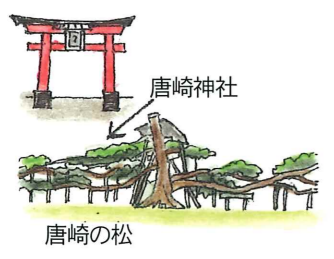


滋賀院門跡(勅使門)



滋賀院門跡(石垣)

■滋賀院門跡
 比叡山延暦寺里坊中、最上位の本坊であり江戸時代末まで天台座主となった皇族代々の居所を示す「門跡」の名を持つ格式高い寺院。
 江戸幕府に仕え、黒衣の宰相と称された僧天海の建立とされる。明治10年火災により焼失するが、比叡山延暦寺三塔の建物が移築され再建された。
 国指定名勝である見事な池泉鑑賞式庭園は作庭家として著名な大名茶人小堀遠州の作と伝えられる延暦寺里坊庭園の一つである。



唐崎神社
唐崎の松



和彦

この間約500m(徒歩10分弱)